R.6 架け橋期のカリキュラム（保育所・幼稚園・認定こども園）

めざす子供像の実現に向けた共通して取り組みたい指導

春野東小学校区　めざす子供像
「主体的にチャレンジし、学びを将来につなぐことができる子ども」～学びの芽生え・学力向上に向けて～

A)チャレンジ精神　B)自尊・他尊　C)コミュニケーション力　D)郷土愛

遊びや学びのプロセスで大切にしたい経験

新たなことに興味・関心をもつ
自分の言葉で伝える
自分の役割を知る
見通しをもつ
生活の場を広げる
栽培･飼育を通して
小さい組のお世話をする
自分のやりたいことを見付ける
思いのぶつかり合い
遊びの広がり
変化に気付く
季節ごとの自然やものとの関わりが広がる
水やり等のお世話をする
調べる・尋ねる
試す
相談する
友達の考えを取り入れる
折り合いを付ける
素材や材料を工夫する
自分のやりたいことへ向かう
素材を見付ける
素材を選ぶ
繰り返し関わる
友達や先生と一緒に
感じる・気付く 不思議に思う
考える・工夫する 試行錯誤する
探究することを楽しむ
振り返る・納得する
新しいクラスで安定 自己発揮する
関わりが広がり深まる 自己調整する気持ちが芽生える
協同を楽しむようになる
教え合う
役割を見付ける
友達と協力する
話し合う
役割分担をする
共通の目的を見い出す
何度も挑戦する
身体をいっぱい使う
競い合う
イメージや考えを交流する
ルールを考える
失敗しても諦めない
経験を生かして再現する
クラスの色々な友達とつながりをもつ
誘う・誘われる
遊びや生活の集団が広がる
これまでの経験を生かす
満足感を味わう
自分の力を発揮する
クラスの仲間と力を合わせる
本物らしさにこだわる
イメージを膨らませる
友達と気持ちを通わせる
自信をもって生活する
友達のよさを認め合う
異年齢に伝える
自分たちの成長を感じる
クラスの一員として自覚をもつ
みんなで力を合わせて楽しむ
より広い世界に興味・関心をもつ
就学にあこがれや期待感をもつ
自分なりの課題を考えてやり遂げる
達成感を味わう

①健康な心と体
②自立心
③協同性
④道徳性・規範意識の芽生え
⑤社会生活との関わり
⑥思考力の芽生え
⑦自然との関わり・生命尊重
⑧数量や図形、標識や文字への関心・感覚
⑨言葉による伝え合い
⑩豊かな感性と表現

保育所・幼稚園・認定こども園

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
めざす子供の姿	年長児になった喜びを感じ、自分のできることをしようとしたり、友達と一緒に取り組んでいく楽しさを感じたりする。 ・それぞれのイメージや思いを出しながら自分たちで遊びを進めようとする。 ・クラスで過ごすことを楽しみながら、安心感をもったり、つながりを感じたりしていく。 ・生活の中ですることが分かり、見通しをもって取り組んでいくようになる。		友達同士で刺激し合いながら自分なりの目的をもって遊び、自分の力を伸ばしていく。 ・自分の考えを出したり相手の考えを受け入れたりしながら友達と工夫したり協力したりして、遊び楽しさを感じる。 ・一緒にすることを楽しみながら自分の力を伸ばしていくようになる。 ・身近な事象と関わる中で、変化、仕組み、法則性などについて気付くようになる。 ・ものの色や形、性質などに関心をもち、遊びを楽しくするために必要な物を作ったり、探したり、試したりするようになる。			友達と共通の目的に向かい、友達と協力して、遊びを進めていく楽しさを味わう。 ・友達のよさを感じながら共通の目的に向かって遊びを進め、目的を実現し達成感を味わう。 ・思ったり考えたりしたことを相手に分かるように話すとともに、気を付けて人の話を聞くようになる。 ・自分の目標に向かってあきらめず挑戦し、自分の力を伸ばしていくようになる。 ・数量や文字に対して興味や関心をもち、進んで遊びに使おうとする。 ・様々な人との関わりの中で刺激を受けながら、自分の見方や考えを広げる。 ・地域の行事や職場体験等体験したことを遊びに取り入れ、より本物らしく再現できるように追究していくようになる。			遊びや生活を自分たちでつくっていく中で、一人一人のよさが生かされ、クラスの連帯感が深まる。 ・自分達でルールを作り、守って遊びを楽しむようになる。 ・グループやクラスの中で、役割を意識して取り組むようになる。 ・自分の成長を感じ園生活の充実感を味わう。 ・就学に向けて期待をもちながら意欲的に過ごす。 ・自分たちの生活に見通しをもち、楽しみながら進めていき、充実感を味わう。 ・友達との遊びを進めながら互いのよさを認め合い、友達と過ごす喜びを感じる。		
	・身近な自然物に関わり興味や関心を広げ、様々なことに気付いたり、驚いたり、不思議さを感じたり、それを伝えたりするようになる。 ・季節の移り変わりを感じながら、自然に親しんだり遊びに取り入れたりするようになる。											
予想される活動	興味・関心をもって自然物に親しむ 「わあきれい。不思議だね。どうなるのかな」 事例１		水・砂・泥などを使った遊び 「こうしたいから、これ使おう」「やってみたら、こうなったよ」 事例2　事例10			身体を使った遊び 「あとちょっと。もう一回やってみよう」 事例3	秋の自然を取り入れた遊び 「レジ作ったよ」「看板も必要だね」 事例4、11、12		劇遊び 「ぼくはこっちをするね」「こうしたらもっといいね」 事例13	昔遊び・正月遊び 「今日も挑戦するぞ」「こうするとおもしろいね」 事例５	自信をもって生活する 「こうしたら小さい子が嬉しくなるね。ぼくはこうするね」 事例14	
指導上の配慮事項 保育者の関わり	・**やっていこうとする姿や気持ちを認め励ます**。 ・**一人一人の楽しみ方**を受け止める。 ・友達と一緒に遊ぶ楽しさに**共感**していく。 ・自然物等の**気付きを一緒に楽しむ。** ・**見通しをもって**取り組めるようにする。		・生活や遊びについて、**互いの話を聞き合う場面**をつくる。 ・発見や感動に**共感する。** ・友達の遊ぶ様子から刺激を得られるようにする。 ・友達の考えを聞いたり自分の思いを伝えたりすることで、新たな視点を見い出していけるように、**いざこざや葛藤の場面を大切にする。**			**一人一人の思いが満足できるような関わりを大切にする** ・**友達と助け合って取り組んでいる気持ちに共感**する。 ・自分の力を出せた喜びや、友達と一緒にやり遂げた**満足感**が味わえるようにする。 ・行事等は**子供の興味や経験**が生かせるものにする。 ・**目標に向かう**頑張りを認めたり一緒に取り組んだりしながら、やってみようとする気持ちを大切にする。 ・**イメージが実現**するような材料や方法を**一緒に考え、実現していく**喜びが味わえるようにする。			・互いに**認め合い支え合う関係を育む学級の雰囲気**をつくる。 ・一人一人が自信をもって行動している姿を認め、**就学への期待に共感**していくようにする。 ・**感動を皆で共有**することや**伝え合う喜び**を、十分に味わえるようにする。	
指導上の配慮事項 環境構成	・**発見や工夫**を伝えたり、一緒に調べたりする状況を作る。 ・したいことを**じっくり楽しめる時間と空間を保障**する。 ・栽培･飼育等は、子供と相談しながら決めていく。		・**イメージを広げられるよう**、様々な素材・材料・遊具の置き場所や数量等を工夫したり、**図鑑や写真等を活用**したりする。 ・水・砂・泥等の自然物の感触や性質を楽しんだり発見したりできるよう、**場の設定や道具の選定**など工夫する。 ・**繰り返し挑戦**しながら、**試したり工夫したりできる場**を用意する。			・挑戦する意欲を高める環境を構成したり、友達と**協力**する状況をつくったりする。 ・体を動かし、挑戦してみたくなるような環境を構成したり共に楽しんだりする。 ・探究することを楽しめるよう、**多様な素材・材料・遊具**を準備したり、場や時間を保障したりする。 ・これまでの**経験を生かし**て遊びに必要なものを自分達で**選択できる状況**をつくったりする。			・今まで頑張ったことが**繰り返し楽しめるような場や遊具を用意**する。 ・これまでの経験を生かして、**友達と遊びを進めていける**ような材料や遊具を準備する。 ・遊びを通して**数量（時間）や文字に関心**がもてるような**環境を工夫**する。	
家庭や地域との連携	・家庭との**信頼関係づくり**を大切にする。		・子供の園での具体的な姿を直接保護者に伝えながら、子供の良いところを家庭と一緒に伸ばそうとする。 ・生活リズムを整えることの大切さについて保護者と共有していく。			・子供の困り感に対して、園での環境の工夫や保育者の関わり方、友達とのやり取りなどを保護者に具体的に伝えたり、家庭での様子を聞いたりしながら、子供の**成長を共に考える**。 ・自然との関わり等、豊かな体験が家庭にもつながるように生活の様子を知らせる。			・就学に向けての**不安や困り感に寄り添い**ながら個別の相談を受ける。 ・学校生活につながるよう、校区を歩くことや持ち物を自分で準備できるよう、**家庭と連携**して取り組む。	
行事等 子供							○交流会	○交流会		○一日入学		○卒園式
行事等 先生	○参観日	○引継ぎ連絡会		○交流会の打ち合せ		○園内研修・校内研修への参加（年間を通して）				○交流会の振り返り	○引継ぎ連絡会	○要録